

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2006-174860(P2006-174860A)
【公開日】平成18年7月6日(2006.7.6)
【年通号数】公開・登録公報2006-026
【出願番号】特願2004-368130(P2004-368130)
【国際特許分類】

A 6 1 B 5/022 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/02 3 3 5 F

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月5日(2007.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

流体が出入りすることによって膨縮する流体袋を備えた血圧計用カフであって、

前記流体袋は、当該血圧計用カフが生体に巻き付けられた状態において内側に位置する内側壁部と、前記内側壁部よりも外側に位置する外側壁部と、前記内側壁部の側端部と前記外側壁部の側端部とを連結し、前記流体袋を加圧していない収縮状態において前記流体袋の幅方向内側に向かって折り畳まれることにより、前記流体袋の側端部において襞を形成する側壁部とを含み、

前記流体袋の側端部の生体への巻き付け方向における一部の領域に、前記側壁部によって形成される襞の広がり減じる接合部が設けられている、血圧計用カフ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項8】

流体が出入りすることによって膨縮する流体袋を備えた血圧計用カフであって、

前記流体袋は、当該血圧計用カフが生体に巻き付けられた状態において内側に位置する内側壁部と、前記内側壁部よりも外側に位置する外側壁部と、前記内側壁部の側端部と前記外側壁部の側端部とを連結し、前記流体袋を加圧していない収縮状態において前記流体袋の幅方向内側に向かって折り畳まれることにより、前記流体袋の側端部において襞を形成する側壁部と、前記流体袋内において前記内側壁部および前記外側壁部の間に配置され、前記流体袋の両側端部に位置する一対の前記側壁部を連結する連結部とを含み、

前記流体袋の生体への巻き付け方向における一部の領域に、前記連結部からみて前記内側壁部側または前記外側壁部側に位置する前記流体袋の一部の壁面と前記連結部の壁面とが接合されることによって形成された接合部が設けられている、血圧計用カフ。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明の第1の局面に基づく血圧計用カフは、流体が出入りすることによって膨縮する流体袋を備えたものであって、上記流体袋は、当該血圧計用カフが生体に巻き付けられた状態において内側に位置する内側壁部と、上記内側壁部よりも外側に位置する外側壁部と、上記内側壁部の側端部と上記外側壁部の側端部とを連結し、上記流体袋を加圧していない収縮状態において上記流体袋の幅方向内側に向かって折り畳まれることにより、上記流体袋の側端部において襞を形成する側壁部とを含み、上記流体袋の側端部の生体への巻き付け方向における一部の領域に、上記側壁部によって形成される襞の広がり減じる接合部が設けられてなる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

本発明の第2の局面に基づく血圧計用カフは、流体が出入りすることによって膨縮する流体袋を備えたものであって、上記流体袋は、当該血圧計用カフが生体に巻き付けられた状態において内側に位置する内側壁部と、上記内側壁部よりも外側に位置する外側壁部と、上記内側壁部の側端部と上記外側壁部の側端部とを連結し、上記流体袋を加圧していない収縮状態において上記流体袋の幅方向に向かって折り畳まれることにより、上記流体袋の側端部において襞を形成する側壁部と、上記流体袋内において上記内側壁部および上記外側壁部の間に配置され、上記流体袋の両側端部に位置する一対の上記側壁部を連結する連結部とを含み、上記流体袋の生体への巻き付け方向における一部の領域に、上記連結部からみて上記内側壁部側または上記外側壁部側に位置する上記流体袋の一部の壁面と上記連結部の壁面とが接合されることによって形成された接合部が設けられてなる。